

拠出金名：国連薬物統制計画基金拠出金

国際機関等名	国連薬物犯罪オフィス (略称) UNODC					
種 別	○国連本体		国連専門機関		その他	
所轄官庁担当局課名	外務省総合外交政策局国際社会協力部人権人道課(8月以降：国際組織)					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト		
平成15年度	370,668	3,038		1 \$ =122 円	(2003年) 5.0	100
平成14年度	370,668	3,038		1 \$ =122 円	(2002年) 6.0	100
平成13年度	361,553	3,379		1 \$ =107 円	(2001年) 7.0	100
拠出上位5ヶ国						
	国 名		率 (%)		左の率及び順位は 2003年のもの	
1位	米国		37.2			
2位	伊		18.1			
3位	英国		8.6			
4位	瑞		7.1			
5位	日本		4.6			
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
世界規模で深刻化しつつある薬物問題への対応策として、国境における不正薬物取引の取締り強化、代替作物支援、前駆物質分析、需要削減等の分野において、途上国への技術協力等の支援を行うと共に、世界の薬物状況の分析報告を発表している。我が国は主要拠出国会合に出席し且つウィーン代表部を通じて当該機関と緊密な連絡を取ることで、当該機関が特にアジア地域で深刻化する覚せい剤問題にもより一層熱心に取り組むべく我が国の意見を反映させている。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
UNODCは、昨年9月の組織改革により、薬物分野を専門に扱っていた国連薬物統制計画と犯罪分野を扱っていた国際犯罪防止センターを統合し、機能の合理化・強化及び情報の集約化に取り組んでおり、我が国も右改革を評価している。						
邦人職員数 うち幹部以上	10人 うち 2人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率		230人 4.7%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称(ランク)		職 員 氏 名		備 考		
UNODC東アジア・太平洋地域センター所長 同副所長		藤野彰 山田成美		出身母体：ILO		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
東アジア・太平洋地域センターにおいては邦人職員が主要ポストを務めているところ、右が継続されるよう努める。						

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2001年～2003年)。